つぎの快適をつくろう。
CORONA

2024/2/15

住宅省エネ2024年 キャンペーン

＊現時点の情報となっております。

令和5年11月10日、令和5年度補正予算案が閣議決定され、本キャンペーンの各事業（以下、「現行事業」）の後継事業等の①～④が盛り込まれました。

①質の高い住宅ストック形成に関する省エネ住宅への支援（仮称）
（こどもエコすまい支援事業の後継事業）

①子育てエコホーム支援事業

②断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業
（先進的窓リノベ事業の後継事業）

②先進的窓リノベ2024事業

③高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金
（給湯省エネ事業の後継事業）

③給湯省エネ2024事業

④既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業（新規）

④賃貸集合給湯省エネ2024事業

住宅の省エネリフォームへの支援の強化

令和５年度補正予算等
- 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業（環境省） 1,350億円（R5補正）
- 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金支援事業（経済産業省） 580億円（R5補正）
- 既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業（経済産業省） 185億円（R5補正）
- 子育てエコホーム支援事業（国土交通省） 2,100億円＋400億円（新築・リフォームの合計）（R5補正＋R6当初案）

目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する改修や高効率給湯器の導入などの住宅省エネ化への支援を強化する必要。

⇨ 国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネリフォームを支援する補助制度について、3省の連携により、各事業をワンストップで利用可能（併用可）とする。

対象

工事内容		補助対象	補助額
①省エネ改修	1）高断熱窓の設置※1,4 先進的窓リノベ2024事業	高性能の断熱窓 （熱貫流率（Uw値）1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの）	リフォーム工事内容に応じて定める額（補助率1/2相当等） 上限200万円/戸
①省エネ改修	2）給湯器※2,4：高効率給湯器の設置 給湯省エネ2024事業	高効率給湯器 （(a)ヒートポンプ給湯機、(b)ハイブリッド給湯機、(c)家庭用燃料電池）	定額（下記は主な補助額） (a)10万円/台、(b)13万円/台、(c)20万円/台
①省エネ改修	2）給湯器※2,4：既存賃貸集合住宅におけるエコジョーズ等取替 賃貸集合給湯省エネ2024事業	エコジョーズ/エコフィール* *従来型給湯器からの取替に限る *補助対象は賃貸集合住宅に設置する場合に限る	追焚機能無し:5万円/台 追焚機能有り:7万円/台
①省エネ改修	3）開口部・躯体等の省エネ改修工事※3,4 子育てエコホーム支援事業	開口部・躯体等の一定の断熱改修、エコ住宅設備（節湯水栓、高断熱浴槽等）の設置	リフォーム工事内容に応じて定める額 ・子育て世帯・若者夫婦世帯:上限30万円/戸 ・その他の世帯 :上限20万円/戸 ※長期優良リフォームを行う場合は、 ・子育て世帯・若者夫婦世帯:上限45万円/戸 ・その他の世帯 :上限30万円/戸 ※子育て世帯・若者夫婦世帯が既存住宅購入を伴う場合は、上限60万円/戸
②その他のリフォーム工事※3,4 （①1）～3）のいずれかの工事を行った場合に限る）		住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	

※1 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業（環境省）による支援（令和5年度補正予算）

※2 高効率給湯器の導入を促進する「家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」（経済産業省）及び既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業（経済産業省）による支援（令和5年度補正予算）

※3 子育てエコホーム支援事業（国土交通省）による支援（令和5年度補正予算、令和6年当初予算案）

※4 ①1）、3）及び②については、経済対策閣議決定日（令和5年11月2日）以降にリフォーム工事に着手したもの、①2）については、経済対策閣議決定日（令和5年11月2日）以降に対象工事に着手したものに限る（いずれの場合にも、交付申請までに事業者登録が必要）。

経済産業省

給湯省エネ2024事業

高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金の概要

（令和５年１２月１９日時点）

資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部

省エネルギー課

水素・アンモニア課

事業概要

令和５年度補正予算 ：５８０億円

事業概要

- **<u>給湯器</u>**は、**<u>家庭のエネルギー消費量の約３割</u>**を占め**<u>最大のエネルギー消費源</u>**。このため、**<u>給湯器の高効率化はエネルギーコスト上昇への対策として有効</u>**。
- 加えて、昨今、①再エネ拡大に伴う**<u>出力制御対策</u>**や②**<u>寒冷地において高額な光熱費の要因となっている設備を一新</u>**する必要性が高まっているため、これらに資する対策を重点的に措置する。

事業スキーム

消費者等に対し、家庭でのエネルギー消費量を削減するために必要な高効率給湯器の導入に係る費用を補助。

<u>※ 申請手続は、消費者等と契約の締結等を行った民間企業等が行い、補助金の交付を受け、交付された補助金を消費者等に還元する。</u>

国

↓ 補助（定額）

補助事業者
（民間団体等）

↓ 補助（定額）

間接補助事業者
（民間企業等） → 補助金分還元 → 消費者等

補助対象

高効率給湯器（ヒートポンプ給湯機、ハイブリッド給湯機、家庭用燃料電池）が対象。

※省エネ法に基づくトップランナー制度における省エネ基準を満たすもの等に限る。

※機器・性能毎に一定額を補助。

※高効率給湯器の導入と併せて蓄熱暖房機または電気温水器を撤去する場合、加算補助。

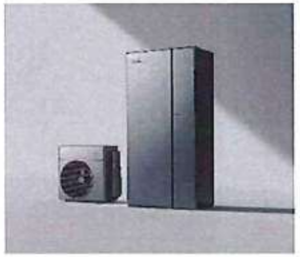
ヒートポンプ給湯機（エコキュート）

出所）三菱電機

家庭用燃料電池（エネファーム）

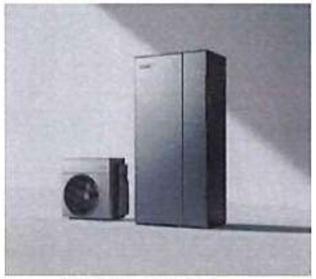
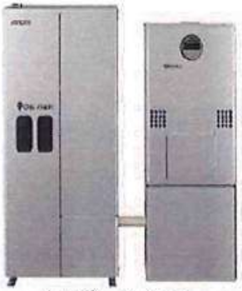
出所）アイシン

ハイブリット給湯機



出所）リンナイ

補助金の対象給湯設備

	ヒートポンプ給湯機 （エコキュート）	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 （エネファーム）
エネルギー源	電気	電気・ガス	ガス
特徴	圧縮すると温度上昇し膨張すると温度が下がる、**気体の性質を利用して熱を移動させるヒートポンプの原理を用いてお湯を沸かし**、タンクに蓄えるもの。	**ヒートポンプ給湯器とガス給湯器を組み合わせて**お湯を作り、タンクに蓄えるもの。二つの熱源を用いることで、より高効率な給湯が可能。	都市ガスやLPガス等から作った**水素と空気中の酸素の化学反応により発電**するとともに、**発電の際の排熱を利用してお湯を沸かし**、タンクに蓄えるもの。
価格 （機器＋工事費）	55万円程度	65万円程度	130万円程度
主な補助額	10万円／台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	13万円／台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	20万円／台 ※レジリエンス機能を強化した機器
商品イメージ	 出所）三菱電機	 出所）リンナイ	 出所）アイシン
追加措置	**蓄熱暖房機*1、電気温水器を撤去する場合** ＋10万円（蓄熱暖房機）　＋５万円（電気温水器） *1：蓄熱レンガを電気で温め、放熱することで部屋を暖める器具。		

高効率給湯器導入補助金における補助額

※　A：昼間の余剰再エネ電気を活用でき、インターネットに接続可能な機種
　　B：補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ない機種
　　C：レジリエンス機能が強化された機種

	ヒートポンプ給湯機（エコキュート）		ハイブリッド給湯機		家庭用燃料電池（エネファーム）	
補助額	基本額	8万円／台	基本額	10万円／台	基本額	18万円／台
	A	10万円／台	AorB	13万円／台		
	B	12万円／台			C	20万円／台
	A&B	13万円／台	A&B	15万円／台		

機器の導入に加えて、以下を実施

○高効率給湯器の導入と併せて蓄熱暖房機または電気温水器を撤去する場合

	蓄熱暖房機	電気温水器
加算額	10万円／台（上限２台まで）	5万円／台（上限２台まで）

※それぞれの補助額に該当する具体的な対象設備は後日公表予定

予算５８０億円のうちエコキュートの採用台数試算

（仮定）

蓄熱暖房機・電気温水器の撤去に係る予算を右記金額と仮定50億円
純粋に高効率給湯３機種に係る補助金総額は530億円（仮定）

R5給湯省エネ事業：11月12日24時時点＜予算消化率：24％時点＞

エコキュート：66,400台 → 全体台数の約74.1％
ハイブリッド：3,100台 → 全体台数の約3.5％
エネファーム：20,100台 → 全体台数の約22.4％
（十の位で四捨五入しています）

上記比率を条件にエコキュートに係る予算金額は392.7億円
エコキュート１台当たりの平均補助額を10万円と仮定するとエコキュート全体で392,730台が対象となる試算。

2022年度　業界出荷台数	704,404 台	
2023年度　業界出荷台数（推定）	644,000 台	（11月以降前年100％）
2024年度　業界出荷台数（推定）	708,400 台	（23年度比10％UP）
2023年12月～2024年11月推定業界値	682,318 台	
うち既築更新需要は	477,623 台	
補助金対象率は	**82.2%**	と推測される。

！！昨年からの変更点！！

住宅省エネ2023キャンペーンと住宅省エネ2024キャンペーンにおける給湯省エネ事業の大きな変更点は以下のとおり。

2023キャンペーン：補助金は消費者に直接振り込み
2024キャンペーン：補助金は事業者を通じて消費者に還元（先進窓リノベ事業などと同様のスキーム）

これにともない、手続き面では以下の変更を予定しています。

①消費者の口座情報の提出が不要
②2023キャンペーンで必要とされていた「交付申請等委任状」の提出が不要
③2024キャンペーンから新たに「共同事業実施規約」の提出が必要

蓄熱暖房機・電気温水器の加算措置について

当該加算措置については、予算額40億円を目処に実施予定です。
予算額に達し次第、当該加算措置は終了予定です。

他の補助金との併用について

原則として、本事業と補助対象が重複する国の他の補助制度との併用はできません。
（例えば、新築住宅を建てられる際に、子育てエコホームによる支援を受けた場合、本補助金の併用はできません。）

補助対象者と交付申請者

給湯器設置工事の工事発注者を補助の対象とします。
補助金の交付申請は、工事発注者(共同事業者)と施工業者(補助事業者)が共同で行います。
具体的な手続きは、施工業者(補助事業者)が代表して行い、補助金の交付を受けるものです。ただし、交付された補助金は工事発注者(共同事業者)に還元される必要があり、申請にあたっては還元方法について、予め両者で同意を行うものとします。

補助事業	締結する契約	補助対象者 (共同事業者)	交付申請者 (補助事業者)
高効率給湯器設置	工事請負契約※	工事発注者 (消費者等)	施工業者 (工事請負業者)

※ 建設業法が定める工事請負契約に相当する内容を含む契約であれば、発注書・請書、売買契約でも構いません。

なお、施工業者は、本事業の参加にあたっては、所定の手続きにより「補助事業者」としての登録(「事業者登録」という。)を受ける必要があり、事業者登録後に交付申請する設置工事を補助の対象とします。

補助対象者

以下の（１）及び（２）を満たす方が補助対象者となります。

（１）給湯省エネ事業者※1と契約※2を締結し、以下①～④のいずれかの方法により本事業の対象設備である高効率給湯器（対象機器）を導入する

①新築注文住宅に、対象機器を購入し、設置する方法【工事請負契約】
②対象機器が設置された新築分譲住宅（戸建または共同住宅等）を購入する方法【不動産売買契約】
③リフォーム時に、対象機器を購入し、設置する方法【工事請負契約※3】
④既存給湯器から対象機器への交換設置を条件とする既存住宅※4（戸建または共同住宅等）を、購入する方法【不動産売買契約】

※1 「給湯省エネ事業者」とは、補助対象者に代わり交付申請の手続きを行い、補助金の交付を受け、交付された補助金を補助対象者に還元するものとして事務局に登録された施工業者等をいいます。
※2 いずれも【 】内の契約書の提出が必要になります。
※3 建設業法が定める工事請負契約に相当する内容を含む契約であれば、発注書・請書、売買契約でも構いません。
※4 未使用の対象機器が設置されていても、既存住宅の購入は補助対象になりません。

（２）対象機器を設置する住宅の所有者等である

・住宅を所有する個人またはその家族
・住宅を所有し、賃貸に供する個人または法人
・賃借人
・共同住宅等の管理組合・管理組合法人

※住宅の所有者であっても、販売目的で住宅を所有する新築分譲事業者および買取再販事業者は対象になりません。

補助対象となる住宅

以下（1）または（2）に該当する住宅が、補助対象住宅となります。
なお、いずれも戸建、共同住宅等の別を問いません。

（1）新築住宅（1年以内に建築された住宅で、かつ居住実績がない住宅のこと）である
※本事業において「建築日」は、原則、検査済証の発出日とします。

（2）既存住宅（建築から1年が経過した住宅、または過去に人が居住した住宅のこと）である
※未使用の対象機器が設置されていても、既存住宅の購入は補助対象になりません。

1戸当たりの補助対象設備の台数制限

設備	戸建	共同住宅等
①高効率給湯器の設置	2台以内	1台以内
②電気温水器の撤去※	①と同台数以内	
③蓄熱暖房機の撤去※	2台以内	2台以内

※ リフォーム工事で、①に伴い2023年11月2日以降に撤去するものに限る。
（子育てエコホームにおいて高効率給湯器に補助を受けても補助対象になりません）
また、①の交付申請と合わせて提出する必要があります。

残予算の公表

本事業では、事後申請制を採用することから、こまめに残りの予算額を開示する予定

対象となる期間及び着工日の考え方

令和５年１１月２日以降に着工する補助事業を対象とします。着工日の定義は、住宅の種別に応じて下表の通りとします。

新築住宅		既存住宅	
注文	分譲	リフォーム（大規模修繕含む）	購入
建築着工日	住宅の引渡日	給湯器（１台目）の設置工事の着手日	住宅の引渡日

補助金の還元

補助金交付を受けた補助事業者は補助金を工事発注者に対して全額還元する必要があります。還元方法は、共同事業実施規約にて交付申請時に合意されているものに基づいた方法で行う必要があります。

申請時に必要となる書類①（予定）

提出書類は、現時点で想定している内容であり、今後変更となる場合があります。
必要書類や提出方法は、事務局が別に定める交付規程、交付申請の手引き等を必ずご確認ください。

※写真類は、2023キャンペーンの撮り方を参考に撮影してください

【必須】

① 本補助金の利用について発注者が同意する共同事業実施規約（指定の書式）
② 工事請負契約書の写し（撤去関係について加算申請する場合は、原則、当該契約※に含まれていること）
③ 発注者の本人確認書類（住民票の写し、運転免許証の写し等）
④ 工事前写真、工事後写真
⑤ 保証書や銘板写真（2023キャンペーンで必要とされているものと同様のもの）

※ 加算対象となる撤去工事を給湯器導入工事を行う事業者と別の事業者に発注（分離発注）する場合は、給湯器導入工事を行う事業者がすべての手続きと補助金の受領を代表して行う場合に限り、申請を行うことができます。共同事業者および撤去工事請負業者が手続きに協力することが必要になりますので、ご注意ください。

【追加】

⑥ヒートポンプ給湯機やハイブリッド給湯機のA要件適合のために、対応リモコンや通信モジュールが必要となる場合は、設置されていることを確認するために、以下の資料も追加で必要（原則（注）、B、C要件の適合については、追加書類は必要ありません）

A要件への適合	確認方法	追加提出書類
給湯器本体	本体の製品型番	なし
対応リモコン	対応リモコンの型番 又は本体とのセット型番	・台所に設置した対応リモコンの型番が確認できる工事後写真 ・対応リモコンまたはセット型番が確認できる納品書※
通信モジュール	通信モジュールの型番	・通信モジュールを設置したことが確認できる工事後写真 ・通信モジュールの型番が確認できる納品書※

※納品書は、補助事業者から共同事業者（消費者）に対して発行されたものをいいます。

注：リンナイ製ハイブリッド給湯機のみ、B要件適合を確認するために「貯湯ユニットの型番」がわかる銘板写真

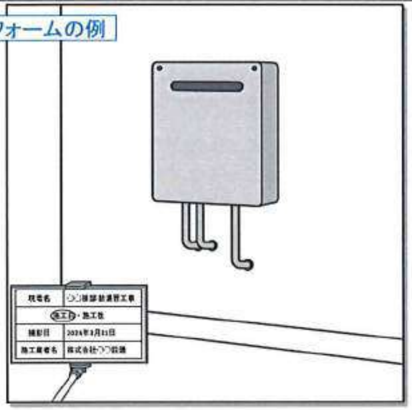
【補足資料】提出する写真の撮影における注意事項

本書では、本事業で提出する各種写真の撮影について、注意事項を記載しています。
撮影にあたっては、本書の記載事項をよく確認してください。**写真が不足している場合や必要事項が確認できない場合は補助対象となりません**。
忘れずに正しく撮影するようご注意ください。（大規模改修等の場合も、補助対象となるすべての住戸・機器についての各写真が必要です。）

1.給湯器本体の申請時に必要となる写真

工事【前】写真

従前の給湯器／新しい給湯器の設置予定場所



◆ 住宅の種別により、撮影する対象が変動

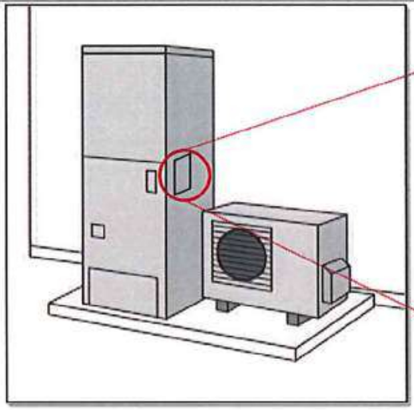
住宅の種別	撮影する対象
新築 注文住宅	設置予定の場所
新築 分譲住宅	購入・工事タイプ：提出不要 リース利用タイプ：設置予定の場所
既存住宅 リフォーム 条件付き購入	従前の給湯器（全体が確認できること） ◇ 増築等により、設備を増設する場合は、設置予定の場所

◆【契約日が2023年11月1日以前である場合は必須】
工事看板等*により、工事日（撮影日）を入れて撮影

※ 工事【前】写真を取り忘れた、工事日が確認できない等の場合、原則、補助対象になりません。
［1事業者1回に限り、「提出免除依頼書」の提出により、工事前写真の提出が免除されます。］

工事【後】写真

高効率給湯器の全体像



◆ 新しく設置した給湯器の全体が確認できること

◆ 従前の給湯器と同じ場所に設置する場合は、画角や距離を工事【前】写真と合わせるように撮影

※ 工事【後】写真の提出免除はありません。

高効率給湯器の銘板ラベル

◆ 以下が確認できること
◇製品型番（型式）
◇製品番号（シリアル）
◇製造年月

◆ エネファームで、
SOFCの場合は、「燃料電池ユニット」の銘板を撮影
PEFCの場合は、「燃料電池ユニット」と「貯湯ユニット」両方の銘板を撮影

◆ ハイブリッド給湯機の場合は、
「ヒートポンプユニット」の銘板を撮影

※ 銘板ラベルの写真の提出免除はありません。

※ エコキュートは、銘板ラベルの撮影は不要です。（保証書の写しの提出が必要になります。）

＊ 必ずしも工事看板である必要はありません（手書きの紙等でも可）が、画像編集により日付等を入れることは認められません。

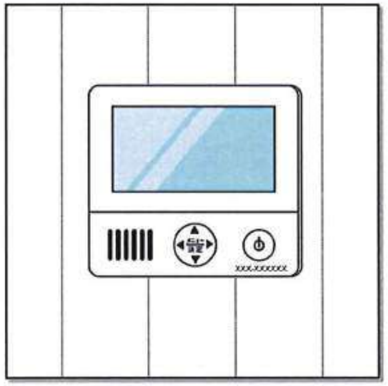
【補足資料】提出する写真の撮影における注意事項

2.性能加算（A要件）の申請時に必要となる写真

※高効率給湯器の設置と合わせて行う場合に加算の対象となります。

一部の給湯器は、性能加算（A要件）を受けるために、追加部品（**「台所リモコン」**または**「無線LANアダプター」**）の設置が必要です。
（給湯器本体が、A要件を満たす場合は、追加部品の設置や写真撮影は必要ありません）
これらの給湯器が加算を受けるためには、追加部品の写真及び消費者納品書を提出します。写真については、以下を参考に撮影を行ってください。

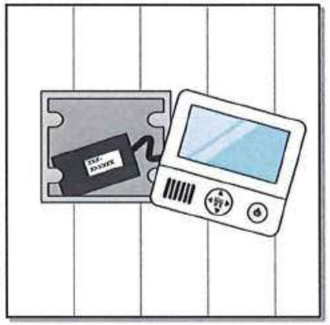
台所リモコン



◆ 壁に取り付け後（工事【後】）に撮影
◆ リモコンの型番（型式）が確認できること
※ 台所リモコンの写真の提出免除はありません。

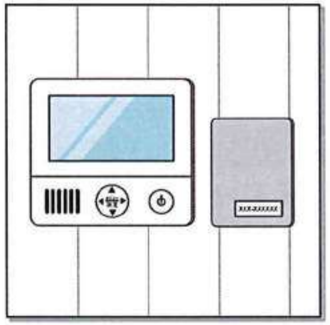
無線LANアダプター

リモコンの組み込み製品の場合



◆ リモコン（裏面でも可）との接続後**（工事【中】）**に撮影
（工事後にリモコンを外して撮影しても可）
◆ 無線LANアダプターの型番（型式）が確認できること
※ 無線LANアダプターの写真の提出免除はありません。

リモコンと別に設置する製品の場合



◆ 壁に取り付けた後（工事【後】）に撮影
◆ 無線LANアダプターの型番（型式）が確認できること
※ 必ずしも壁に設置されている必要はありません。
※ 無線LANアダプターの写真の提出免除はありません。

【参考】対象となる追加部品の型番（型式）

※ 給湯器本体により、補助対象となる部品の型番（型式）は指定されます。

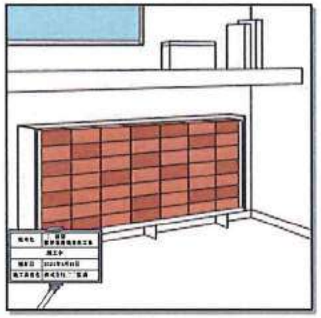
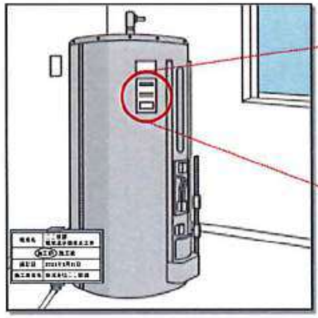
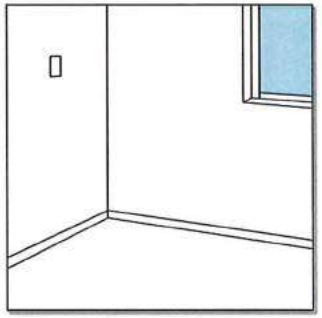
	台所リモコン	無線LANアダプター（リモコンの組み込み製品の場合）	無線LANアダプター（リモコンと別に設置する製品の場合）
エコキュート	【三菱電機株式会社】 RMCB-KD6-T　RMCB-KC6-T 型番は、リモコンのフタ内側（右下）に印字されています。 【株式会社コロナ】 RMP-FADW5　RMP-GADW1 型番は、リモコンの底面（右下）に表示されています。	【日立グローバルライフソリューションズ株式会社】 BH-WLAN-W　BH-WLAN-T 型番は、無線LANアダプターに印字されています。	【三菱電機株式会社】 GT-RA2　GT-HR1 型番は、無線LANアダプターの底面に印字されています。
ハイブリッド	【株式会社ノーリツ】 RC-G057MPW-2　RC-K001MW RC-K001MW-FCN　RC-K001MPW RC-K001MPW-FCN 型番は、リモコンは表面（右下）に印字されています。	対象となる給湯器と部品はありません。	対象となる給湯器と部品はありません。

【補足資料】提出する写真の撮影における注意事項

4.撤去加算（蓄熱暖房機または電気温水器）の申請に必要となる写真

※高効率給湯器の設置と合わせて行う場合に加算の対象となります。

蓄熱暖房機と電気温水器により、提出する写真が異なります。以下を参考にして、撮影を行ってください。

	撤去する機器	撤去する機器の銘板ラベル	機器が設置されていた場所
蓄熱暖房機	 ◆ **撤去【中】**に撮影 （レンガ等、中の構造が確認できることが必要） ◆ 工事看板等*により、工事日（撮影日）を入れて撮影 **※ 撤去機器の写真の提出免除はありません。**	蓄熱暖房機は、銘板ラベルは不要です。	 ◆ 撤去【後】に撮影 ◆ 撤去【中】と同じ画角で撮影 **※ 撤去機器設置場所の写真の提出免除はありません。**
電気温水器	 ◆ 撤去【前】に撮影 ◆ 工事看板等*により、工事日（撮影日）を入れて撮影 ◆ 新しく導入する給湯器の設置場所と同一の場合は、この写真を『給湯器本体の工事【前】写真』としても提出可 **※ 撤去機器の写真の提出免除はありません。**	 ◆ 以下が確認できることが必要 ◇電気温水器であること ◇製品型式（型番） **※ 銘板の文字が消えている等、電気温水器であることが確認できない場合は、配管の本数が確認できる写真または保証書を提出してください。** **※銘板ラベルの写真の提出免除はありません。**	 ◆ 撤去【後】に撮影 ◆ 撤去【前】と同じ画角で撮影 ◆ 新しく導入する給湯器と設置場所が同一の場合は、『給湯器本体の工事【後】写真』をこの写真としても提出可 **※ 撤去機器設置場所の写真の提出免除はありません。**

* 必ずしも工事看板である必要はありません（手書きの紙等でも可）が、画像編集により日付等を入れることは認められません。

子育てエコホーム支援事業の概要

令和5年度補正予算　：　2,100億円
令和6年度当初予算案 ：　　400億円

1 制度の目的

エネルギー価格などの物価高騰の影響を受けやすい**子育て世帯・若者夫婦世帯※による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得**や、**住宅の省エネ改修等**に対して支援することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支えを行い、2050年カーボンニュートラルの実現を図る。

※子育て世帯：18歳未満の子を有する世帯　若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが39歳以下の世帯

2 補助対象

高い省エネ性能を有する住宅の新築、一定のリフォームが対象（事業者が申請）

※経済対策閣議決定日（令和5年11月2日）以降に、新築は基礎工事より後の工程の工事に、リフォームはリフォーム工事に着手したものに限る（交付申請までに事業者登録が必要）。

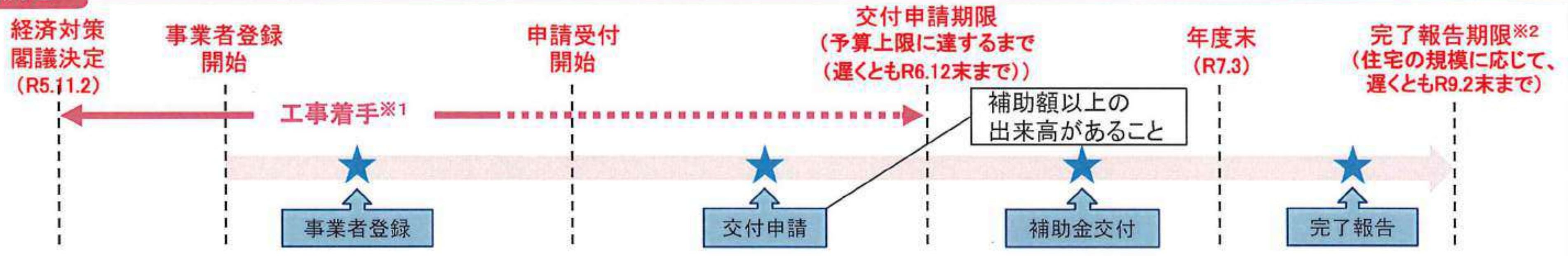
子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築

対象住宅	補助額
①長期優良住宅 **②ZEH住宅** （強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの） ※ 対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上240㎡以下とする。 ※ 土砂災害特別警戒区域又は災害危険区域（急傾斜地崩壊危険区域又は地すべり防止区域と重複する区域に限る）に立地している住宅は原則除外とする。 ※「立地適正化計画区域内の居住誘導区域外」かつ「災害レッドゾーン（災害危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又は浸水被害防止区域）内」で建設されたもののうち、3戸以上の開発又は1戸若しくは2戸で規模1000㎡超の開発によるもので、都市再生特別措置法に基づき立地を適正なものとするために行われた市町村長の勧告に従わなかった旨の公表に係る住宅は原則除外とする。	①100万円/戸 ② 80万円/戸 ただし、以下の(i)かつ(ii)に該当する区域に立地している住宅は原則半額 (i) 市街化調整区域 (ii) 土砂災害警戒区域又は浸水想定区域（洪水浸水想定区域又は高潮浸水想定区域における浸水想定高さ3m以上の区域に限る）

住宅のリフォーム＊1

対象工事	補助額
① 住宅の省エネ改修	**リフォーム工事内容に応じて定める額※** **・子育て世帯・若者夫婦世帯：上限30万円/戸** **・その他の世帯　：上限20万円/戸** ※子育て世帯・若者夫婦世帯が既存住宅購入を伴う場合は、上限60万円/戸 ※長期優良リフォームを行う場合は、 ・子育て世帯・若者夫婦世帯：上限45万円/戸 ・その他の世帯　：上限30万円/戸
② 住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等 （①の工事を行った場合に限る。）＊2	

3 手続き



※1 新築は基礎工事より後の工程の工事への着手、リフォームはリフォーム工事への着手　※2 完了報告期限までに省エネ住宅の新築工事全体が完了していない場合は、補助金返還の対象

＊1「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業」（環境省）、「高効率給湯器の導入を促進する家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」（経済産業省）及び「既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業」（経済産業省）（＊2において「3省連携事業」という。）との<u>ワンストップ対応</u>を実施

＊2 3省連携事業により住宅の省エネ改修を行う場合は、①の工事を行ったものとして②の工事のみでも補助対象とする

（参考５）こどもエコすまい支援事業との比較

リフォーム

	こどもエコすまい支援事業	子育てエコホーム支援事業
対象工事	①窓・ドアの断熱改修 ②外壁、屋根・天井又は床の断熱改修 （省エネ基準レベル又はZEHレベル） ③エコ住宅設備（蓄電池を含む）の設置 ④子育て対応改修 ⑤防災性向上改修 ⑥バリアフリー改修 ⑦空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置 ⑧リフォーム瑕疵保険等への加入 ※①～③はいずれか必須、④～⑧は任意（①③は環境省・経産省の事業を含む）	・同左（対象工事と基準は同じ）
補助額	リフォーム工事ごとに設定された補助額の合計 ○最低：5万円（2万円※） ※環境省・経産省の連携事業において併せて1の補助申請が行われている場合は2万円とする。 ○最大： ・一般：30万円 ・一般＋安心R住宅購入：45万円 ・子育て・若者夫婦世帯：45万円 ・子育て・若者夫婦世帯＋既存住宅購入：60万円	リフォーム工事ごとに設定された補助額の合計 ○対象製品毎の補助額は一部引上げ ○最低：5万円（2万円※） ※環境省・経済産業省の連携事業において併せて1の補助申請が行われている場合は2万円とする。 ○最大： ・一般：20万円 ・一般＋長期優良：30万円 ・子育て・若者夫婦世帯：30万円 ・子育て・若者夫婦世帯＋長期優良：45万円 ・子育て・若者夫婦世帯＋既存住宅購入：60万円

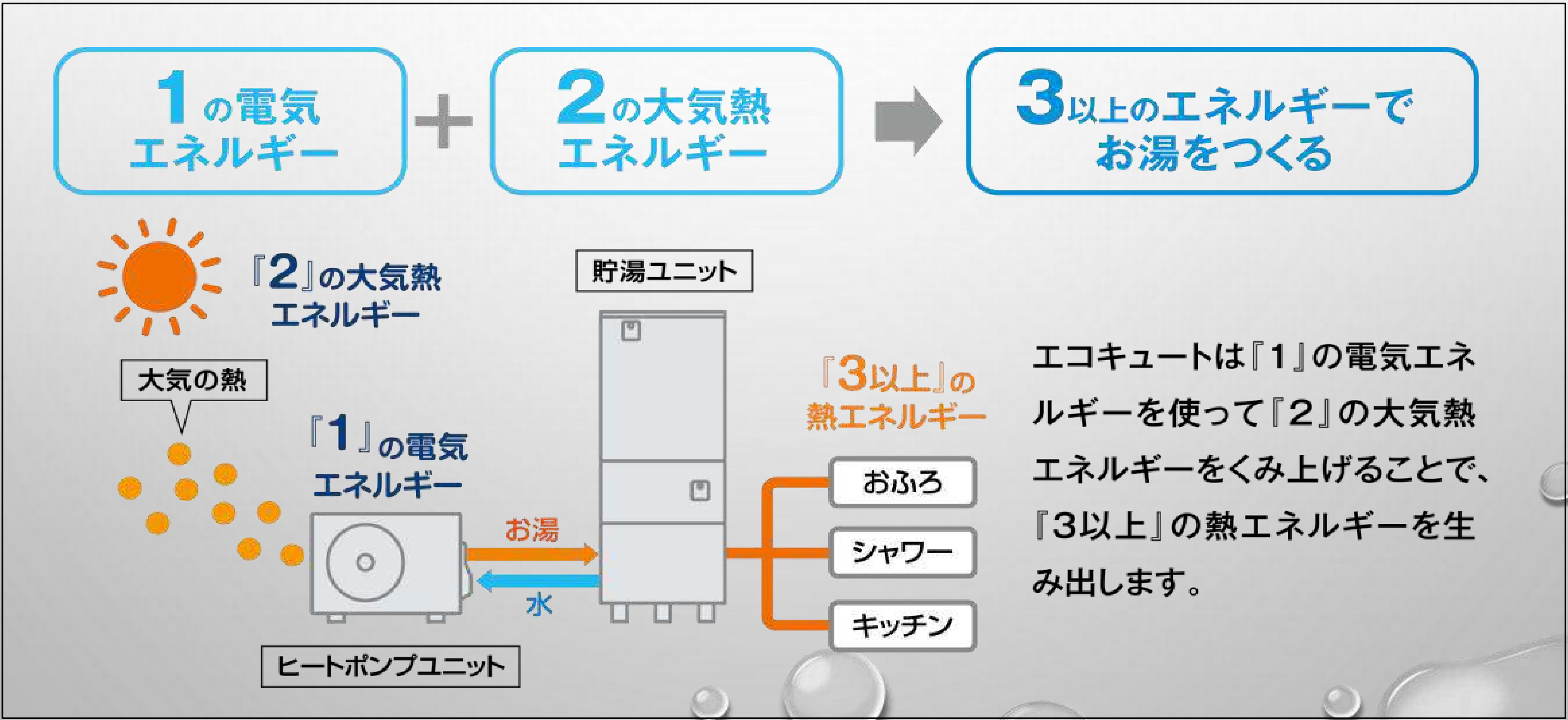
コロナエコキュートのご案内

つぎの快適をつくろう。

CORONA

■エコキュートとは？

エコキュートは、大気の熱を使ってお湯を作る給湯機です。
「**1**」の電気エネルギーで「**2**」の大気熱エネルギーをくみ上げることで、
「**3以上**」の熱エネルギーを生み出す、環境に優しい給湯機です。



■エコキュート導入のメリットは？

効率よくお湯を『つくる』、効率よくお湯を『ためる』、効率よくお湯を『つかう』ことで
高効率給湯を実現。

ランニングコストに大きなメリットが出てきます。

また環境保全へも大きく貢献。従来の給湯設備に比べて大幅なCO2削減を達成。

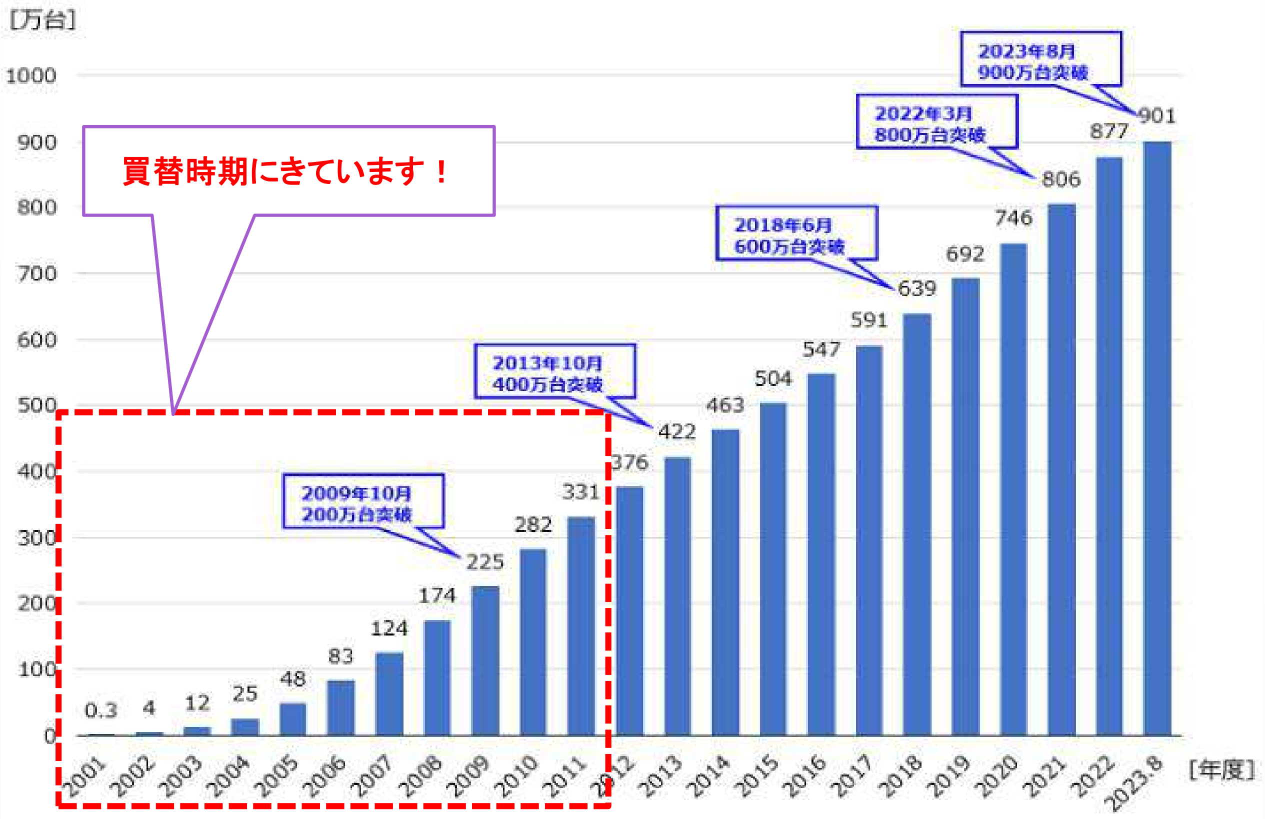
1年間のランニングコスト比較	2003年製のエコキュート 370Lフルオートタイプ 約38,700円	高効率 **2023年モデルプレミアムエコキュート 370Lフルオート　高圧力タイプ** **年間 約22,500円** 20年前と比べて 約16,200円 おトク！
	電気温水器 約103,000円	電気温水器と比べて 約80,500円 おトク！

エコキュートのニーズ　― 累計普及台数 ―

毎年30～40万台ペースで増加

2023年8月に**900万台**を
突破しました！！

■エコキュート累計普及台数



HEMSやスマートハウスの普及で今後さらなる普及が見込まれます。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター　https://www.hptcj.or.jp/index/newsrelease/tabid/2154/Default.aspx

買替時期は2001年製から2013年製までが買替時期となります

エコキュートのニーズ　— 市場をとりまく環境 —

省エネ
高効率給湯器

買替需要
増加

初期ユーザー様の
買替需要の拡大

再生可能エネルギー
の自家消費

太陽光発電は
効率よく自家消費

新築ZEH
拡大

新築住宅の省エネ化
での採用率アップ

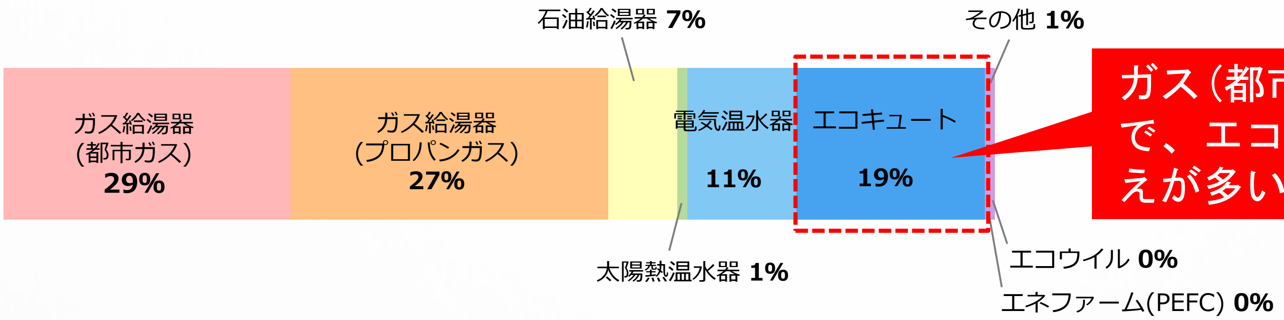
補助事業
拡大

補助金施策による
重点支援

エコキュートは、今後ますます市場の拡大が期待されます。

エコキュートのニーズ　― 買い替え需要の高まり ―

Q. あなたの現在のご家庭でエコキュート導入までに使用してた機器は何ですか？　　N=518SA



ガス（都市ガス・LPガス）に次いで、エコキュートからの買い替えが多い

（一社）日本冷凍空調工業会　家庭用ヒートポンプ給湯機購入動機　使用満足度調査報告書より

設置後、10年以上経過した
エコキュートは300万台もある

（一社）日本冷凍空調工業会　家庭用ヒートポンプ給湯機出荷統計より
https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/i_broke.html

ES(エネルギーセーブ)制御

「ES制御」とは、お湯を効率よく「つくる」「ためる」「使う」という3つの技術を融合させた制御で、「お湯の沸き上げ」や「省エネ給湯回路」「省エネ保温」など、コロナだけの省エネ技術です。

つくる

- 高効率ヒートポンプ

ためる

- 特殊成型断熱材
- 7つの温度サーミスタ
- ステンレス管
- 高品質タンク缶体

つかう

- 省エネ給湯回路
- マルチサークル追いだき
- 省エネ保温

コロナエコキュートについて

おすすめ機能

■2025年度を目標年度とする新しい省エネ基準に対応した省エネ給湯機。

■太陽光発電余剰電力の活用機能として、コロナ快適ホームアプリを利用して天気予報情報を入手することにより、ＨＥＭＳの導入不要でソーラーモードの自動運転が可能となるソーラーモードアプリ機能を搭載。
（無線LANインターホンリモコンのみ対応）

■レジリエンス機能として、災害警報を受けてお客様がアプリ※や台所リモコンを操作することにより、生活用水が確保できるタンク１回満タンおよび 、浴槽への水はり機能を搭載。

※無線LANインターホンリモコンのみ対応

コロナエコキュートはこれからの時代に寄り添った機能を充実させてまいります。

2025年度省エネ基準達成

エコキュート等の家庭用ヒートポンプ給湯機は、
「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」（省エネ法）に基づき、機器のエネルギー消費効率の目標基準値および達成年度が定められています。

エコキュートでは2025年度を目標年度とする新しい省エネ基準が定められており、コロナエコキュートAZ1は、この省エネ基準をクリアした省エネ給湯機です。

年間給湯保温効率(JIS) **4.0！**

(プレミアムエコキュートCHP-HXE37AZ1において)

■区分及び省エネ基準

区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	省エネ基準値
A	少人数	–	–	一般地	3.0
B				寒冷地	2.7
C	標準	1缶	320L未満	一般地	3.1
D				寒冷地	2.7
E			320L以上550L未満	一般地	3.5
F				寒冷地	2.9
G			550L以上	一般地	3.2
H				寒冷地	2.7
I		多缶	–	一般地	3.0
J				寒冷地	2.7

2025年度省エネ基準達成

タイプ		2023年モデルラインアップ 型式	年間給湯保温効率（JIS）	給湯省エネ事業対象	⇒	2024年モデルラインアップ 型式	年間給湯保温効率（JIS）	給湯省エネ事業対象
角型	プレミアム	CHP-HXE37AY5	4.0	〇	⇒	CHP-HXE37AZ1	4.0	〇
		CHP-HXE46AY5	3.9	〇		CHP-HXE46AZ1	3.9	〇
	スタンダード	CHP-37AY5	3.3	－	⇒	CHP-37AZ1	3.5	〇
		CHP-46AY5	3.3	－		CHP-46AZ1	3.5	〇
	高圧力型	CHP-E37AY5	3.3	－	⇒	CHP-E37AZ1	3.5	〇
		CHP-E46AY5	3.3	－		CHP-E46AZ1	3.5	〇
		CHP-E37AY6	3.5	〇		統合	－	－
		CHP-E46AY6	3.5	〇			－	－
薄型	高圧力型	CHP-E372AY5	3.0	〇	⇒	CHP-E372AZ1	3.0	〇
		CHP-E462AY5	3.0	〇		CHP-E462AZ1	3.0	〇

上記機種、薄型タイプについては5月発売予定

■エコキュートの省エネ基準

2025年度目標の区分 区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	2025年度目標基準値
A	少人数	—	—	一般地	3.0
B				寒冷地	2.7
C	標準	一缶	320L未満	一般地	3.1
D				寒冷地	2.7
E			320L以上550L未満	一般地	3.5
F				寒冷地	2.9
G	標準	一缶	550L以上	一般地	3.2
H				寒冷地	2.7
I		多缶	—	一般地	3.0
J				寒冷地	2.7

■高効率給湯器導入補助金における補助額

基準額	8万円/台	トップランナー基準達成機種
A	10万円/台	A：昼間の余剰再エネ電気を活用でき、インターネットに接続可能な機種
B	12万円/台	B：補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ない機種
A&B	13万円/台	A及びBの要綱を満たしている機種

2024年モデルではスタンダードタイプも2025年基準を達成！

２００９年１１月から始まった

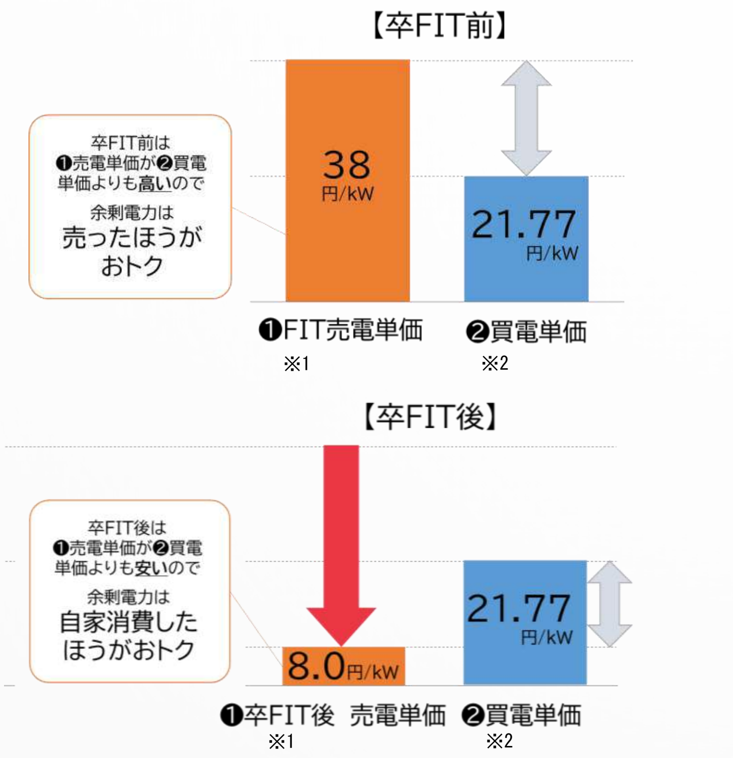
太陽光発電余剰電力の固定価格買取制度「ＦＩＴ」における

買取期間が、２０１９年１２月から順次終了（卒ＦＩＴ）し、

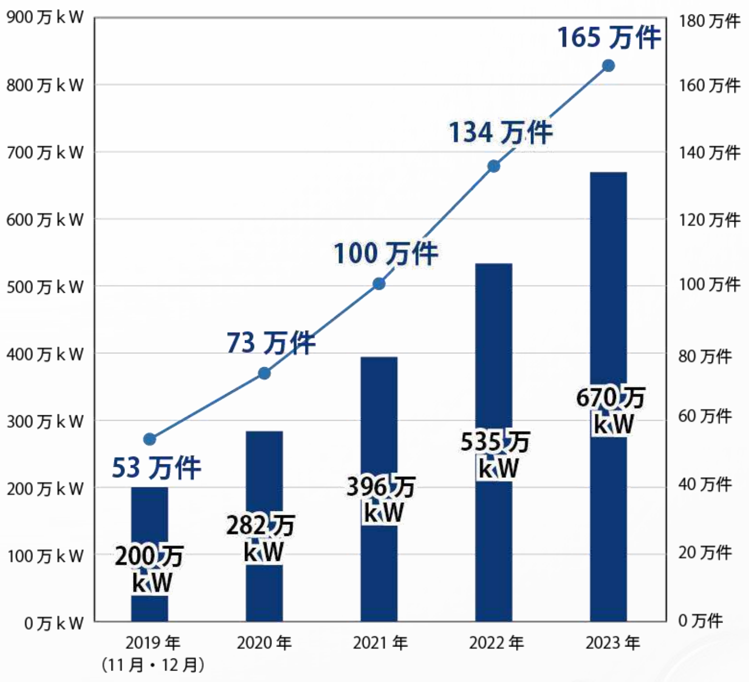
売電のメリットが少なくなっていますよね。

＜既築買い替えの場合＞

累積では、2023年までに約165万件・670万kWに達し、これらが自家消費または余剰電力の自由売電に移行していくことになります。



FITを卒業する住宅用太陽光発電の推移（累積）



※1 2013年度買取価格
※2 関西電力「はぴeタイムR」夜間時間料金および再生可能エネルギー発電促進賦課金1.4円/kWh、燃料調整費5.0円/ kWh含む。
※3 関西電力において。

（出典）2018年9月12日資源エネルギー庁「住宅用太陽光発電設備のFIT買取期間終了に向けた対応」

そこで　余剰電力は「売る」より「自家消費」することをおすすめします！！

コロナエコキュートの太陽光余剰電力活用

エコキュートは「ソーラーモード」で太陽光発電の余剰電力を使えます！

天気予報を確認して、太陽光発電を利用してお湯をつくります。

エコキュート単独

ソーラーモード

毎回手動で設定

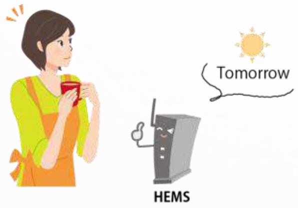
HEMS を導入していないご家庭でも、明日、明後日の天気予報を確認してソーラーモードを ON にすることで、太陽光発電の電力を利用して、昼間に沸き上げ運転を行います。天気予報や季節に応じて、リモコンより「2 日設定」「1 週間設定」ができます。

HEMS 連動

ソーラーモードプラス

HEMS が自動で天気予報を確認

専用のHEMSを介して天気予測データを基に、エコキュートの運転を計画します。
翌日の天気や前日までの電力消費パターンから、太陽光発電による余剰電力を予測し余剰電力がある場合は、その電力を利用して昼間にも沸き上げます。



エコキュート（無線 LAN リモコン）+アプリ

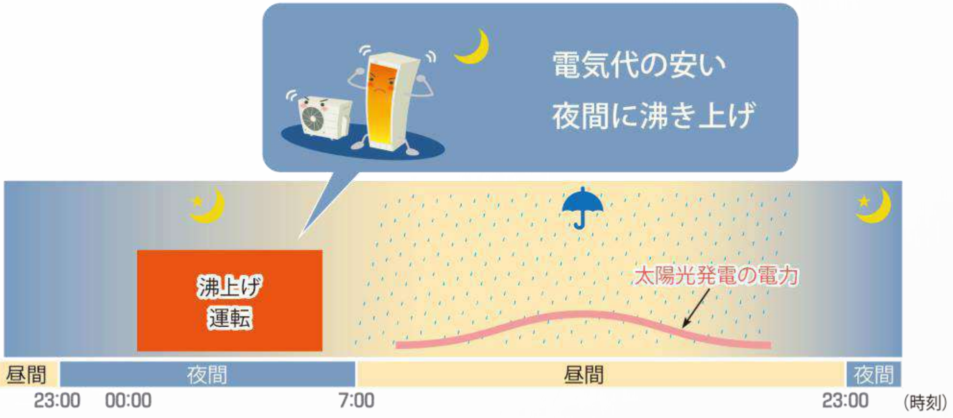
ソーラーモードアプリ

アプリが自動で天気予報を確認

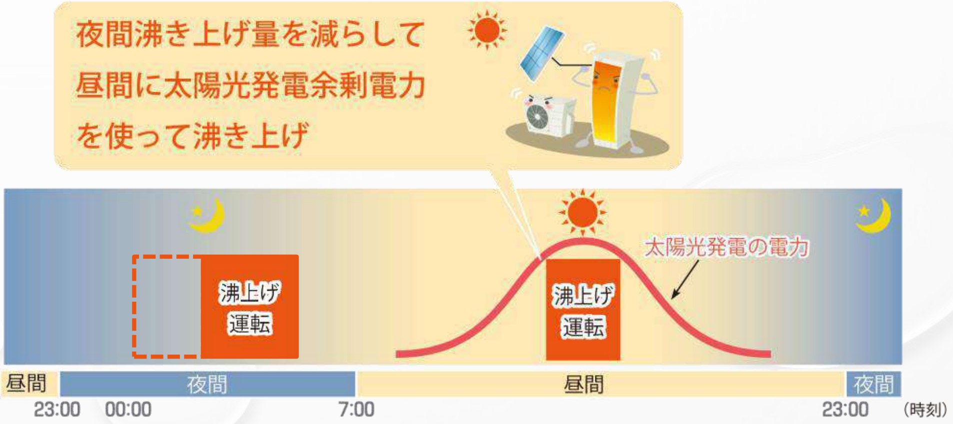
HEMSを導入していないご家庭でも、アプリの設定を行うことで、天気予測データを基に、自動でエコキュートの沸き上げ運転を計画します。

2022年度AY5シリーズ（無線LAN対応インターホンリモコンのみ）に対応している新機能です。

通常運転および雨の日など （太陽光発電余剰電力不使用）



ソーラーモード／ソーラーモードプラス／ソーラーモードアプリ

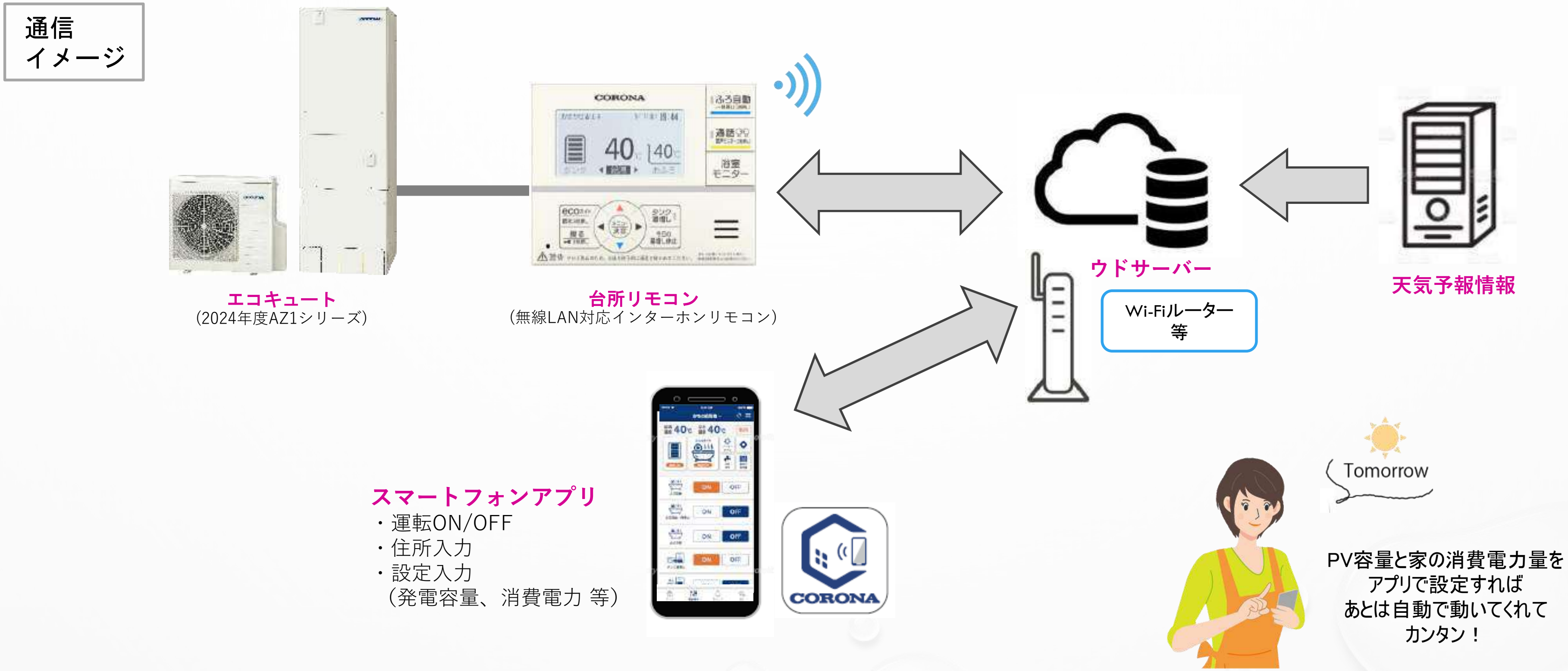


●夜間の沸上げを一部昼間へ移動して、昼間に発電した電力で沸上げ運転をおこないます。

コロナエコキュートの太陽光余剰電力活用　―「ソーラーモードアプリ」―

無線LANリモコン採用で使用できます

「ソーラーモードアプリ」なら、HEMSを導入していないご家庭でも
天気予報情報をクラウドから自動で入手し、エコキュート自身が運転可否を判断します。



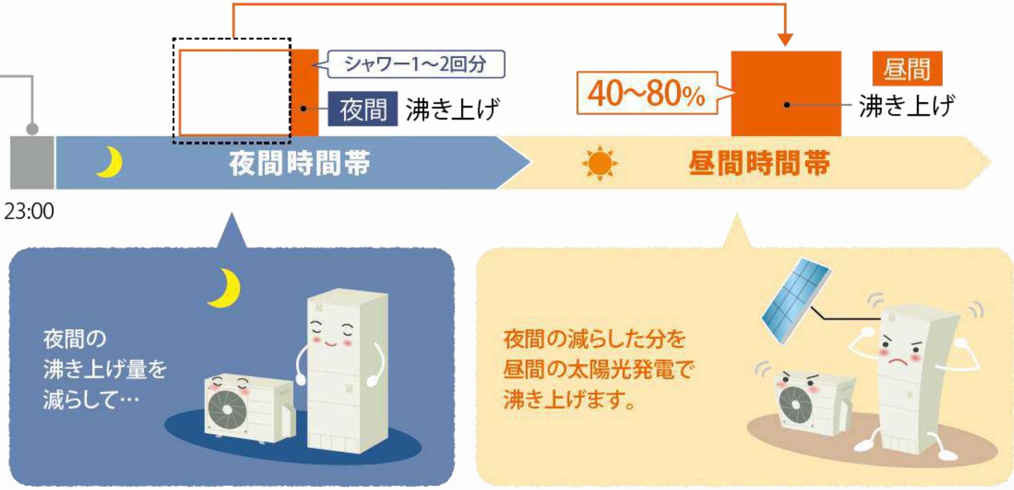
HEMS導入不要でソーラーモードの自動運転が可能に！

無線LANリモコンで使用できます

「ソーラーモードアプリ」なら、HEMSを導入していないご家庭でも
天気予報情報をクラウドから自動で入手し、エコキュート自身が運転可否を判断します。

動作
イメージ

翌日の天気予報を基に昼運転可否を判断し実施します。



★積極モードに設定すれば曇りの日でも運転ができる！

太陽光を有効活用！

**通常運転より
もっとお得な
運転が可能に！**

コロナエコキュートのレジリエンス施策

コロナエコキュートはいざという時のために、すでに施策を講じています。

SMAミキシング弁

停電時でもお湯が使えます。

※最後に使用していた時の給湯温度で出てくるため、湯温をお確かめのうえ、お使いください。断水している場合はお使いいただけません。

非常用取水栓

断水時にも生活用水を確保できます。

●ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください。
●非常用取水栓から熱湯が出る場合がありますので、湯温には十分ご注意ください。(飲用は避けてください)

転倒防止策

3本脚でクラスS対応の耐震設計。

[3本脚だから通常の設置もラクラク]

コロナは万が一の転倒防止策として、貯湯ユニットの脚の強度、設置方法にも配慮しています。

耐震性を考慮した独自設計の脚

※1缶370Lタイプ。1缶460LタイプはクラスA対応。
一般財団法人 日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における「局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度」に基づいて設計。クラスS)設計用標準震度KH=2.0(満水質量の2倍の荷重)に耐えること。クラスA)設計用標準震度KH=1.5(満水質量の1.5倍の荷重)に耐えること。試験条件:満水の機器を所定の方法にて固定し、重心位置に対して弱軸方向へ連続的に荷重を加え、機器が設計用標準震度に耐えることを確認。

リチウム電池搭載

停電時でも時刻の再設定が不要です。

[災害時、復旧が早いのは電気です。]

火を使用していないので、火災などの二次災害の可能性も低く、安心感が違います。

2011年東日本大震災における電気・水道・都市ガスの「復旧率」の推移
〈「復旧率」=(延べ停止戸数−停止戸数)/延べ停止戸数〉

●土木図書館所蔵資料「東日本大震災におけるライフライン復旧概要(Ver.3)」より作成。
●電気は、6日で90%、水道は7日で50%復旧。

体験者の声

東日本大震災の時、エコキュートで助かりました。

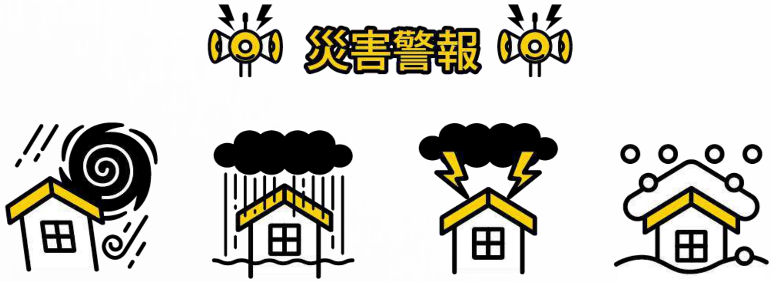
わが家は家具が倒れた程度の被害ですみましたが、水道がなかなか復旧しませんでした。飲み水は配給されましたが、一番困ったのがトイレの水です。幸いなことに、わが家はエコキュートを使用していたので、タンクの水を使うことができ、とても助かりました。

福島県　F.Fさん

耐震性に配慮。停電時でもお湯が使えます！

コロナエコキュートのレジリエンス施策強化

災害警報を受けてお客様がアプリ※や台所リモコンで操作をすることにより、生活用水が確保できる機能として、「タンク満タンまで沸き上げる機能（1回満タン）」および「生活用水を浴槽に溜める（浴槽への水はり機能）」を搭載しています。



防風警報　大雨警報　雷警報　大雪警報

災害警報を確認

スマートフォンのアプリやリモコンを操作してレジリエンス機能を設定

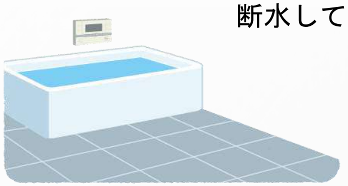
コロナ快適ホームアプリ（スマートフォン）※　台所リモコン

1回満タン

災害に備え、お湯を作って確保します！

浴槽への水はり

浴槽に生活用水が確保できるので、断水しても安心！



※ 無線LAN対応インターホンリモコン選択時のみアプリをお使いいただけます。

進化したスマートナビリモコンプラス！

スマートナビリモコンプラスの入浴お知らせ機能がさらに進化しました。
さらに快適な入浴をサポートします！

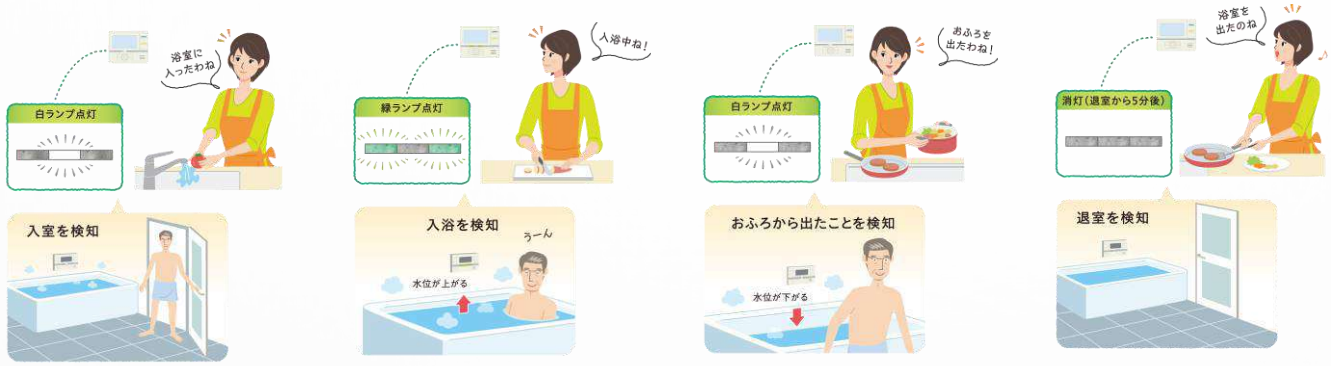
その他　コロナエコキュートの特長　— 入浴みまもり機能 —

ヒートショックに関連した入浴中の死亡者数は、交通事故交通事故の死亡者数のなんと約4倍と推計されています。

コロナは、入浴事故を抑制するための機能をエコキュートに搭載。ご年配の方もお子さまも、安全・安心な入浴をサポートします！

入浴お知らせ（台所リモコン）

台所リモコンのお知らせサインが入浴者の状況をお知らせします。

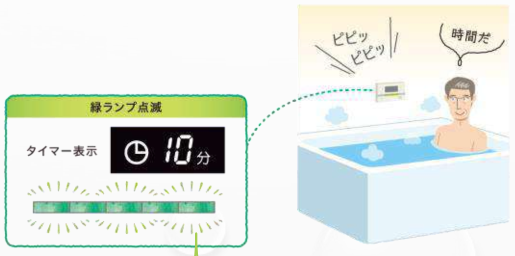


音声モニター（台所リモコン）

ワンボタンで浴室の音を聞くことができます。
シャワーなどの小さい音も確認できて安心です。

湯上りタイマー（台所リモコン）

入浴を検知し、入浴時間をカウント。設定時間になると
ランプとお知らせ音で設定した湯上り時間をお知らせ。



湯上りタイマー延長スイッチを
押すと延長できます。

浴室モニター（台所リモコン）

台所リモコンの「浴室モニタースイッチ」を押すと、
入浴している方の入浴時間や状況を確認できます。

無線LANリモコンで使用できます

CORONA

スマートフォンからエコキュートを操作できるからこんなに便利。

コロナ快適
ホームアプリ
紹介動画

コロナ快適ホームアプリ

1 遠隔操作

スマートフォンでどこででもカンタン操作。

2 見える化

アプリを利用してエコキュートの情報を見える化。

3 自宅みまもり

自宅で、気になる入浴者の状況をチェック。

4 遠隔みまもり

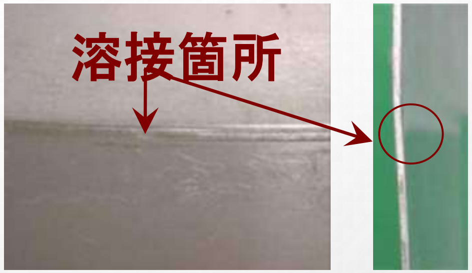
離れて暮らすご家族のエコキュートの使用状況をチェック。

■タンク長寿命化の実現

タンク缶体には、独自の「突き合わせ接合内面溶接」技術を採用。

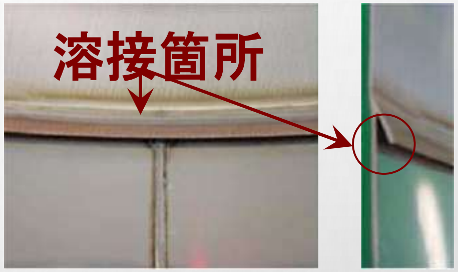
重ね合わせ部分がないため、隙間腐食の心配がありません。

自社製品



タンク内面（お湯側） 断面図

他社製品



タンク内面（お湯側） 断面図

■タンクユニット内部の配管にステンレス管の採用

従来、エコキュートの貯湯ユニットの配管には銅配管が用いられていましたが、現行コロナエコキュートでは、貯湯ユニット内の配管をステンレス化し、耐腐食性と耐久性が向上しました。

2024年度コロナエコキュートAZ1 新製品一覧

設置地域	給湯タイプ	タイプ	タンク容量	商品型式	省エネ基準達成率 目標年度2025	年間給湯保温 効率(JIS) ※	発売時期
一般地 (－10℃対応)	フルオート	プレミアム	370L	CHP-HXE37AZ1	114%(区分E)	4.0	5月
			460L	CHP-HXE46AZ1	111%(区分E)	3.9	
		高圧力スリム	460L	CHP-ES46AZ1	100%(区分E)	3.5	2月
		高圧力ハイグレード	370L	CHP-E37AZ1	100%(区分E)	3.5	
			460L	CHP-E46AZ1	100%(区分E)	3.5	
		ハイグレード	370L	CHP-37AZ1	100%(区分E)	3.5	
			370L	CHP-37AZ1-2	100%(区分E)	3.5	
			460L	CHP-46AZ1	100%(区分E)	3.5	
		高圧力薄型デザイン	300L	CHP-ED302AZ1	100%(区分I)	3.0	4月
		高圧力薄型	370L	CHP-E372AZ1	100%(区分I)	3.0	
			460L	CHP-E462AZ1	100%(区分I)	3.0	
寒冷地 (－25℃対応)		プレミアム	370L	CHP-HXE37AZ1K	113%(区分F)	☆ 3.3	5月
			460L	CHP-HXE46AZ1K	110%(区分F)	☆ 3.2	
		高圧力スリム	460L	CHP-ES46AZ1K	100%(区分F)	☆ 2.9	
		高圧力ハイグレード	370L	CHP-E37AZ1K	100%(区分F)	☆ 2.9	
		スリム	460L	CHP-S46AZ1K	100%(区分F)	☆ 2.9	
			460L	CHP-S46AZ1K-2	100%(区分F)	☆ 2.9	
		ハイグレード	370L	CHP-37AZ1K	100%(区分F)	☆ 2.9	
			370L	CHP-37AZ1K-2	100%(区分F)	☆ 2.9	
			460L	CHP-46AZ1K	100%(区分F)	☆ 2.9	

※ 年間給湯保温効率（JIS）及び寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、JIS C 9220:2018に基づき算出した値です。（☆印は寒冷地年間給湯保温効率（JIS）の値です。）